島津明人（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）

（a）国際誌に発表した論文


(b) 外国語による著書


(c) 国際学会・海外学会での発表・講演等


業績目録


（d）その他の国際的な業績

[国際誌の編集]
1. 2004年1月～: Journal of Occupational and Organizational Psychology（Consulting Editor）
2. 2007年1月～: BioScience Trend（Editor）

[研究資金の獲得]
1. 2004-2005年度海外先進教育実践支援プログラム「職業性ストレスに関する理論的・実践的・比較文化的研究」（日本学術振興会）採択。
ユトレヒト大学社会科学部（オランダ）に客員研究員として1年間勤務。
2. 2006年度国際学会等派遣事業（日本学術振興会）採択。
第26回国際応用心理学会（ギリシャ）のシンポジウムにて話題提供を行った。
3. 2009年度第1回採用分外国人招聘事業（短期）（日本学術振興会）採択。
主任研究者としてアントホーフェン工科大学（オランダ）のDe Jonge教授を招聘し、職業性ストレスの健康影響とその評価方法に関して研究交流を図った。
4. 2010年度国際学会等派遣事業（第Ⅰ期）（日本学術振興会）採択。
第4回国際労働衛生学会・仕事の心理社会的要因と健康に関する国際会議（オランダ）にて研究発表を行った。

[その他国際交流]
1. 2010年2月: ジャウメI世大学（スペイン）・招聘講師。
Occupational Health Psychology（産業保健心理学）に関する講義を行った。
2. 2010年3月: グアダラハラ大学（メキシコ）・招聘講師。
ワークショップ講師として、Occupational Health Psychology（産業保健心理学）および労働者向けストレスマネジメントに関する講義とグループワークを担当した。
3. 2010年7月: 第1回アジア太平洋Occupational Health Psychology（産業保健心理学）担当者会議（オーストラリア）出席。
日本代表として労働者のポジティブメンタルヘルス（ワーク・エンゲイジメント）に関する成果を報告するとともに、今後のアジア太平洋地域における産業保健心理学の研究・教育について討議した。
4. 2011年7月: 第2回アジア太平洋Occupational Health Psychology（産業保健心理学）担当者会議（マレーシア）出席。
5. 2011年10月: 産業保健に関する国際会議（メキシコ・グアダラハラ大学）出席。
業績目録